

平成29年3月22日水曜日、「平成28年度決算・事業報告承認」の理事会が開催されました。

又「平成29年度事業計画及び予算承認」の件の決議事項では、各理事による活発な意見がなされ、満場一致で可決されました。

理事会開催

平成二十八年度事業報告 平成二十九年度事業計画

教育・研究機関への

助成金交付及び支援事業

産官学の連携に取組み、優れた研究を行なう大学を中心とする、高等教育・研究機関に助成金を交付し、支援を行います。

芸術的資質育成

支援事業

世界に通用する芸術的資質を持った人材の発掘と育成を支援するために、地域の自治体や団体と連携し、全国市町村幼児・児童絵画コンクールを主催するとともに、受賞者を賞状と副賞を授与し表彰します。

教育セミナー・講演会等の

開催事業

我が国の抱える諸問題を取り越えていく為の解決策を教育的視点から研究し、又同目的を有する教育・研究機関への助成等により得られた成果を広く世間に公表・提言する為の教育セミナーや講演会を開催します。

広報関連事業

当財団や関係財団の行った活動実績について、広報誌やホームページでの紹介と、研究結果の発表や講演会教材としての書籍等も発行・配布します。

奨学金の授与事業

21世紀の国家・社会の形成に主体的となり参画する国際的な資質を持った日本人の育成に資する為、気概を持って学習しようとする学生に、返済義務のない奨学金を授与し、就学を支援します。

又、英語力の向上に強い意欲を持つ学生・社会人に対し、奨学金の支給を行います。



平成28年度 事業報告

我が国の抱える諸問題を乗り越えていくための解決策を教育的観点から調査研究のため、又当財団の活動成果を公表・提言し公益に資する目的で、平成29年1月27日三重県松阪市の株式会社サイネックス大ホールにて「社会で活躍できる力を育てる」というテーマで開催しました。



(教育セミナー会場の様子)

人間が持つ力を再認識すること、それらを磨くこと、更には人間同士の繋がりから生まれる新しい知恵に焦点を当てること、これらが豊かな未来社会構築において最も必要なことという主旨で参加者は大変興味深く聞き入っていました。



平成二十八年度

教育セミナー・講演会等の開催事業

教育・研究機関 支援事業

産学官の連携に取組み、優れた研究を行う大学を中心とする、高等教育・研究機関に助成を行いました。

本年度は、地域を活性化
する活動や研究への支援を
行なっている三重大学に対
し助成を行いました。



(産学連携研修の様子)

芸術的資質育成 支援事業

世界に通用する芸術的資質を持った人材の育成のため事業を行っています。

今年度は、募集したもの
の、残念ながら申込が無か
った。次年度は、開催時期
を検討しながら募集を行う
予定です。

奨学金授与事業

21世紀の国家・社会の形成に主体的となり参画する国際的な資質を持った日本人の育成に資する為、本年度は7大学10名の大学生に対し平成28年度奨学生として認定し、奨学金を授与しました。本年度の奨学生募集にあたり、募集対象をより広げるため調整を継続して実施し、将来に向けての対応を行いました。



広報関連事業

当財団や関係財団の行った活動や実績について、広報紙「フューチャー」やホームページで広くお知らせしています。

又、活動内容、研究成果の発表は、講演会教材として活用されるとともに、書籍等も発行し広く一般に案内・配布しました。



ふるさと納税はWEBから
(検索／わが街ふるさと納税)

平成29年12月28日、文部科学省の中央教育審議会大学分科会将来構想部会において“今後の高等教育の将来像について”の提示に向けた概要が発表されました。

今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理【概要】

平成29年12月28日
中央教育審議会大学分科会将来構想部会

社会全体の構造の変化

- ・学術研究や教育の発展 → 学際的・学融合的な研究、文理融合的な教育
- ・第4次産業革命 Society5.0 → 「AI × ○○」分野を超えた専門知・技能の組み合わせ
- ・人生100年時代 → 多様な年齢層の学生
- ・グローバル化 → 多様な国籍の教員、学生
- ・地方創生 → 地方の産業の生産性向上、高付加価値化

高等教育における人材育成

- 18歳で入学する伝統的な学生
 - ・急速な社会の変化の中で陳腐化しない普遍的なスキル、リテラシー
 - 一般教育・共通教育と専門教育を通じた汎用的能力の育成
 - 強みとなる専門分野と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成
 - ・第4次産業革命時代の新たなリテラシー
 - 数理・データサイエンス
- 社会人
 - ・学術的な背景を持つ教員による最先端の実践の理論化
 - ・実務経験のある教員による最先端の実践例の提供

※Society5.0に向けた人材育成の在り方については引き続き議論

高等教育機関の教育研究体制

- ・将来の人材需要は次々と変わり得る
- ・上記の社会の変化に共通するキーワードは「**多様性**」

→予測困難な中で、変化に迅速かつ柔軟に対応できる教育研究システムの構築へ

→多様な価値観が集まるキャンパスから新たな価値が生まれる
→自前主義から脱却し、学部を超え、大学を超えて多様な人的資源を活用
→それを少子高齢化の中で実現

■多様な教育研究分野

迅速かつ柔軟なプログラム編成
多様性 × 少子化 = 連携・統合

- ・学位プログラム(学部等の枠を超えたプログラムの構築)
 - ※学生の視点から履修の幅を広げるような取組も重要
- ・大学間の連携・統合 ※円滑な撤退の手続き

■多様な学生

多様性 × 高齢化 → 多様な年齢層の学びの場に

- ・社会人 → リカレント教育
- ・外国人 → 留学生

■多様な教員

多様性 = 学外資源の活用 (脱自前主義)

- ・学位プログラム(再掲)
- ・実務家、若手・女性

■多様性を受け止めるガバナンス

多様性 = 学外資源の活用

- ・他大学、産業界、地方公共団体との恒常的な連携体制の構築
- ・学外理事等

※短大、高専、専門学校、大学院について、特有の検討課題、高等教育機関全体の相互の接続関係の在り方、学位・称号の国際的通用性の確保等について引き続き検討

18歳人口の減少を踏まえた大学の規模や地域配置

■大学の規模

- ・本格的な人口減少 18歳人口 119万人(2016)→103万人(2030)→88万人(2040)
- ・2033年の進学者数の推計は、47都道府県平均で、現在の定員の約85%
- ・リカレント教育による多様な年齢層の学生の増加に留意

■地域で描く将来像

- ・全都道府県の大学の配置状況に関する客観的なデータの作成(将来の入学者減の推計を含む。)
- ・地域の国公立大学が、地方自治体、産業界を巻き込んで、将来像の議論や連携、交流の企画を行う恒常的な体制を構築

教育の質の保証と情報公開

- ・教育課程、指導方法の改善 → シラバス、GPA、実務家教員の活用、教員の教育能力
- ・学修成果の可視化と情報公開 → 学修時間、GPA、退学率、就職率、資格取得、アセスメント、ルーブリック、ポートフォリオ、学生の成長実感、満足度調査、卒業生への評価の把握 他
- ・認証評価 → 内部質保証の重視と負担軽減

※「大学院教育の在り方や大学等における研究の関係」、「高等教育機関の機能別分化」、「高等教育を支える支援方策の在り方」等については、今後検討



行政情報誌「わが街事典」

700 6,400 万部を突破!!

発行自治体数 累計発行部数

電子書籍

わが街事典は電子書籍化にも取り組んでいます

わが街 ぶるさと 納税

わが街 ぶるさと 生活

わが街 ぶるさと 防災

東証一部上場 株式会社 サイネックス

証券コード2376

東京本部 東京都千代田区錦町5丁目3番地 TEL (03) 3265-6541 (代表)	本社 大阪府中央区瓦町3丁目6番13号 TEL (06) 6766-3333 (代表)	製作本部 三重県松阪市鞍部田町101番地 TEL (0598) 26-1521 (代表)
--	---	--